2020年/12~2022/12期
中期経営計画資料

環境、つなぐ未来。

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION



2020年2月25日

日本コンセプト株式会社

東証1部

9386

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

目次

Ⅰ	企業理念とSDGs	P.3
Ⅱ	2020/12～2022/12期中期経営計画	P.9
Ⅲ	中期経営計画　定量目標	P.24

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

I

企業理念とSDGｓ

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

企業理念

■ 地球の環境破壊を防ぎ、反復利用できる容器を活かしたビジネスモデルを推進する
当社の姿勢を社員並びに社会と広く共有するため、企業理念を制定しました

わたしたちは、地球の環境破壊を防ぎ、反復利用できる輸送容器を活用した国際総合物流サービスを通じ、人類が未来永劫に亘り活躍できる社会の維持に貢献します。

わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有するボーダレスな国際総合物流カンパニーとして、高品質でお客様にご信頼いただけるサービスを、責任をもってご提供いたします。

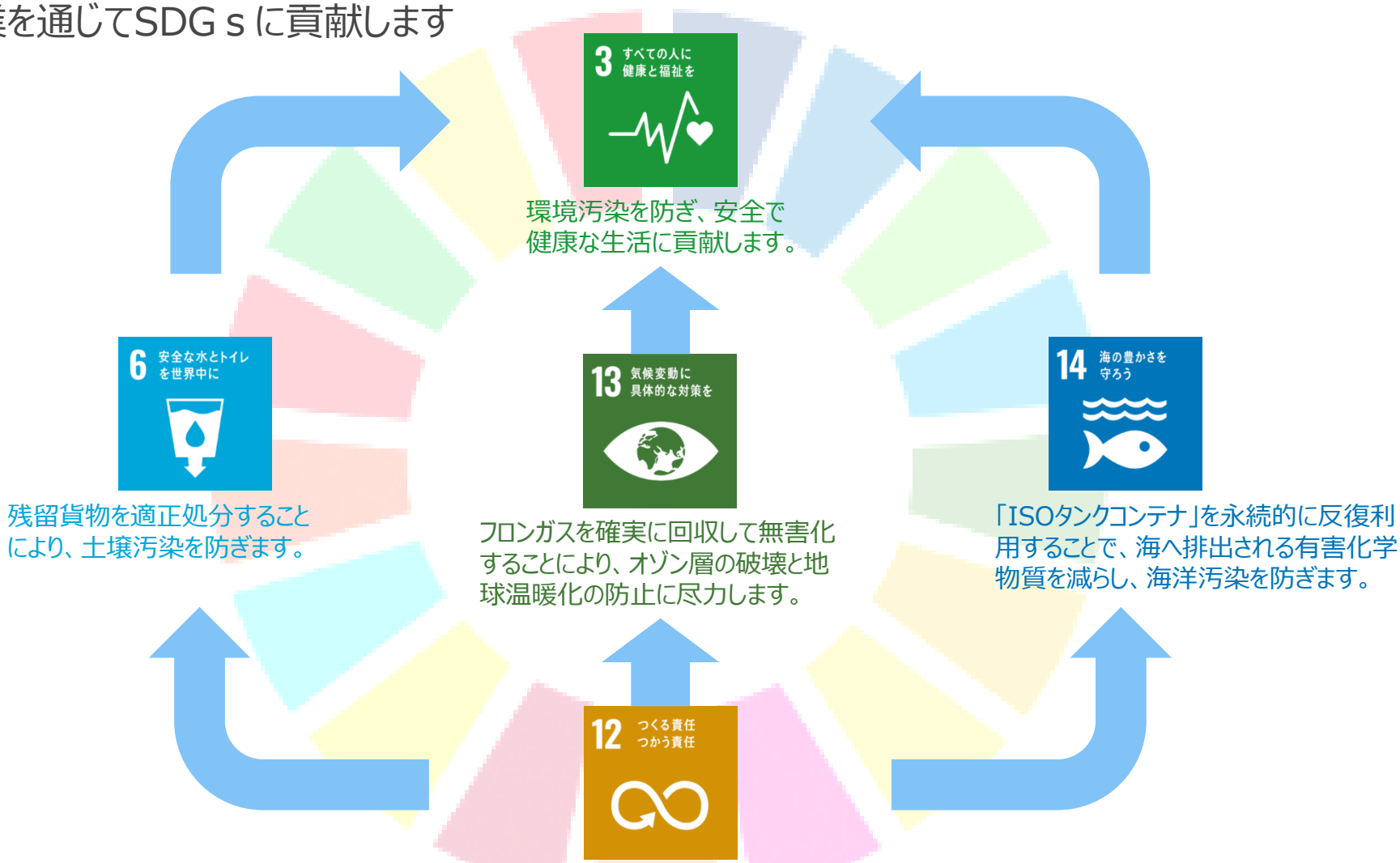
わたしたちは、修練された技術のサービスをご提供するため、日頃より克己して研鑽に努めます。

わたしたちは、広く社会全体に奉仕する公共性と豊かな国際性を備えた、社会に誇れる環境国際物流企業として邁進します。

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

当社ビジネスとSDGｓ

■ 事業を通じてSDGｓに貢献します



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナは長期間の反復利用が可能

- タンクコンテナは、ISO規格に基づく高い強度と耐久性を備え、危険物を一般の貨物と同様に海陸一貫輸送できる。地球温暖化抑制の観点から世界的に推進されているモーダルシフトにも適合
- タンクコンテナは長期間の反復利用が可能、包装材も一切使用しないため、輸送にともなう廃棄物も最小限に抑えられる
- 洗浄作業も、残液の厳格な処理を行うことができる信頼性の高い施設で実施



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

洗浄・排水工程の徹底管理

■ タンクコンテナの反復利用には、徹底した洗浄が必須

タンクコンテナの洗浄排水は、バクテリアを利用した丁寧かつ高度な排水処理を施しています。
放流直前には自社のラボでPH、BOD*、COD**等の入念な検査を経て、
さらに金魚の水槽に排水を放流して異常が発生しないことを確認したうえで、河川に放流しています。






注）BOD（Biochemical Oxygen Demand）：水の汚染を表す指標の一つで、好気性微生物が一定時間中に水中の有機物（汚物）を酸化・分解する際に消費する溶存酸素の量をppm で示す。測定した排水のppm値が低いほど浄化されている。
COD（Chemical Oxygen Demand）：水の汚染を表す指標の一つで、水中に有機物などの物質がどれくらい含まれるかを、被酸化性物質を酸化するために必要とする酸素の量に換算してppmで示す。測定した排水のppm値が低いほど浄化されている。

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

フロンガスの回収・再生・無害化事業

■ 地球の環境保全の一翼を担う環境国際物流企業として、フロンガスの輸送にとどまらず、
回収・再生・無害化（分解）に至るまで、当局の許認可を受けた当社施設にて一括管理

フロンガスの輸送

フロンガスの保管

フロンガスの回収

フロンガスの再生・無害化



フロンガス無害化装置

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION



回収したフロンガス

運用・管理コストの大幅な削減

環境破壊の確実な防止

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅱ

2020/12～2022/12期
中期経営計画

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

中期経営計画　基本方針

環境に優しいタンクコンテナを活用した地球の環境保全への貢献を通じて、着実な成長を図る

1. 化学品やフロンガスに対応し、地球の環境保全をすることが唯一可能な物流容器であるタンクコンテナによる物流を、日本をはじめ遍く世界に広める。
2. サステナブルな環境保護のために構築したネットワークをベースに、ビジネスの更なる取り込みを図る。
3. フロンガスの回収・再生・無害化に至る当社独自のビジネスモデルを展開し、ガス関連ビジネスを拡大する。
4. 資本業務提携を結ぶ㈱商船三井との協業体制を通じ、新たな販路を拡大する。

企業戦略

1 従来の化学品輸送方式からタンクコンテナへの輸送モードに切替えを促進することにより、顧客ニーズの拡大を目指す。

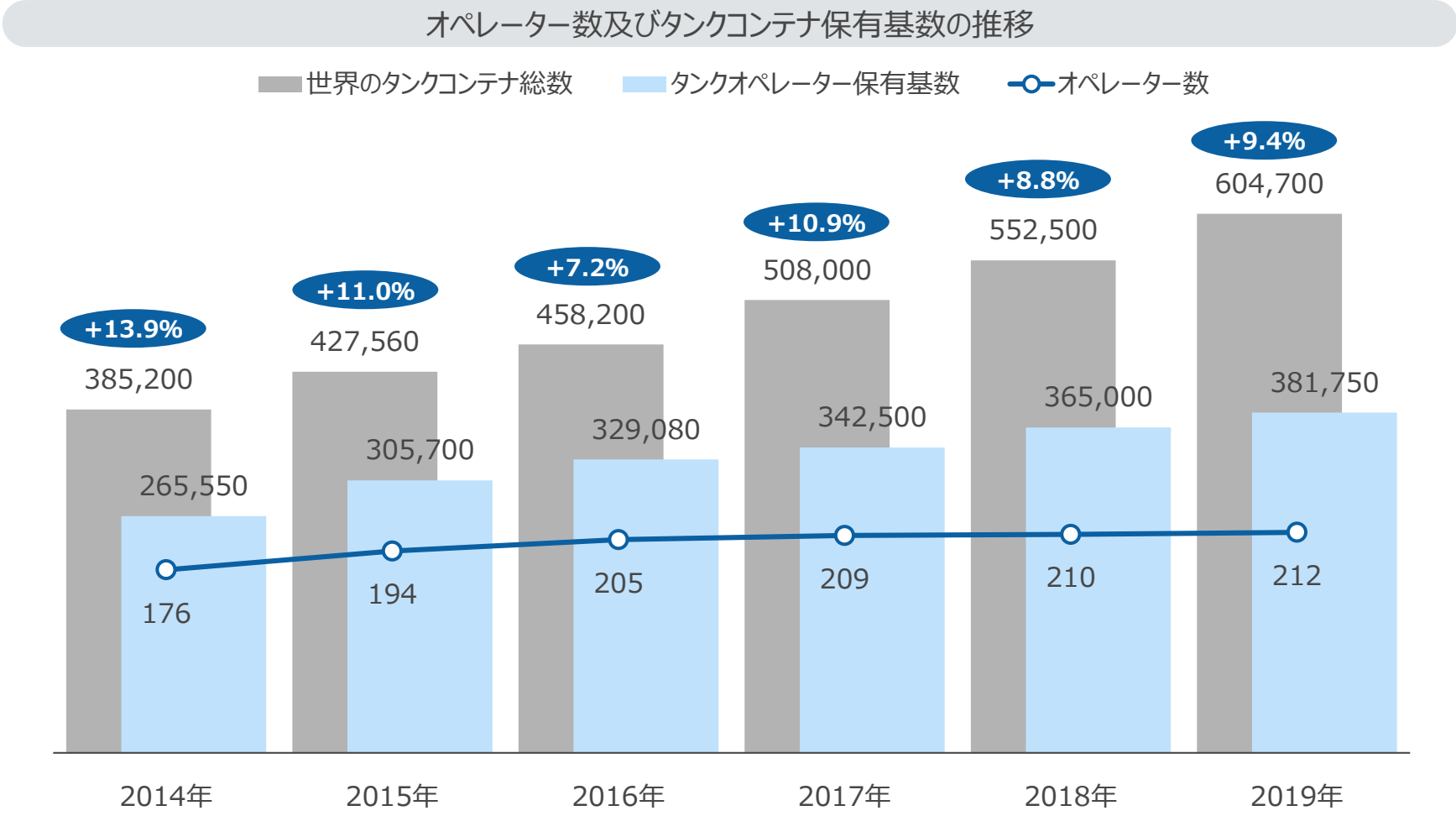
2 従来の国内輸送方式を、より大量の輸送ができるタンクコンテナと当社の国内拠点網を活用した複合（トラック、鉄道、内航船）輸送に切替えることにより、ドライバー不足への対応と環境保全に貢献する。

3 フロンガスの回収から再生・無害化に至る当社独自のフルラインナップサービスを、ガスタンクコンテナのみならず他の容器にもご提供することを通じてガスビジネスを拡大する。

4 グローバルネットワークの更なる充実を図るため、新たな地域へ進出し、取引量の拡大を目指す。

事業環境（1）　タンクコンテナ、オペレーター数の推移

■ 世界のタンクコンテナ総数は、2014年以降約60%増、オペレーター数は約20%増



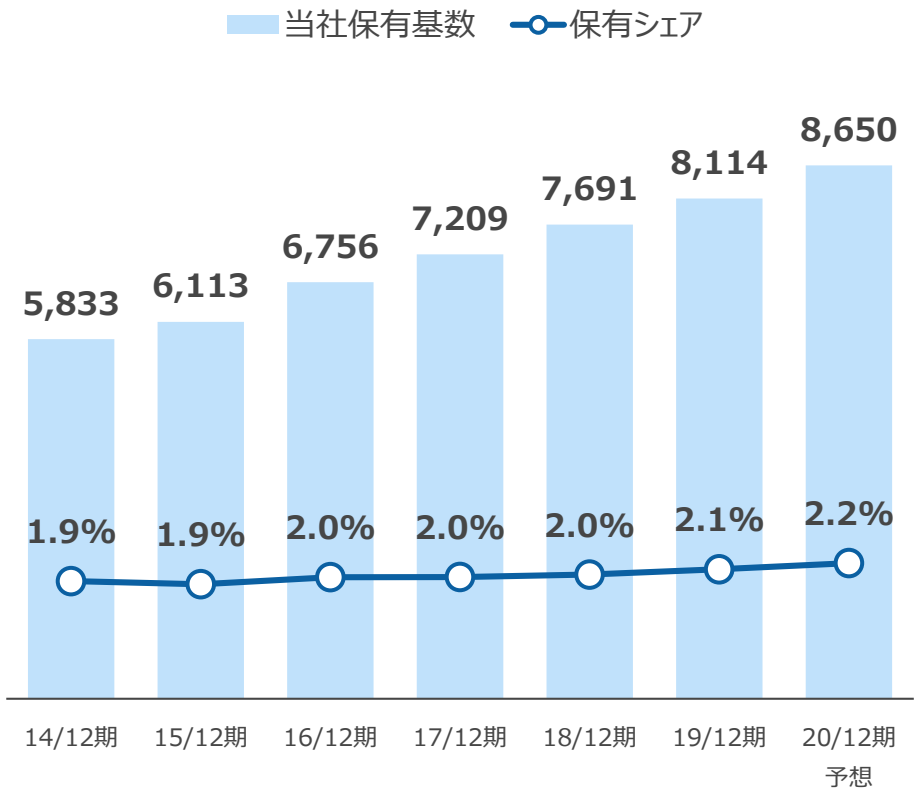
(*)各年1月1日

(出所)ITCO Global Tank Container Survey 2019

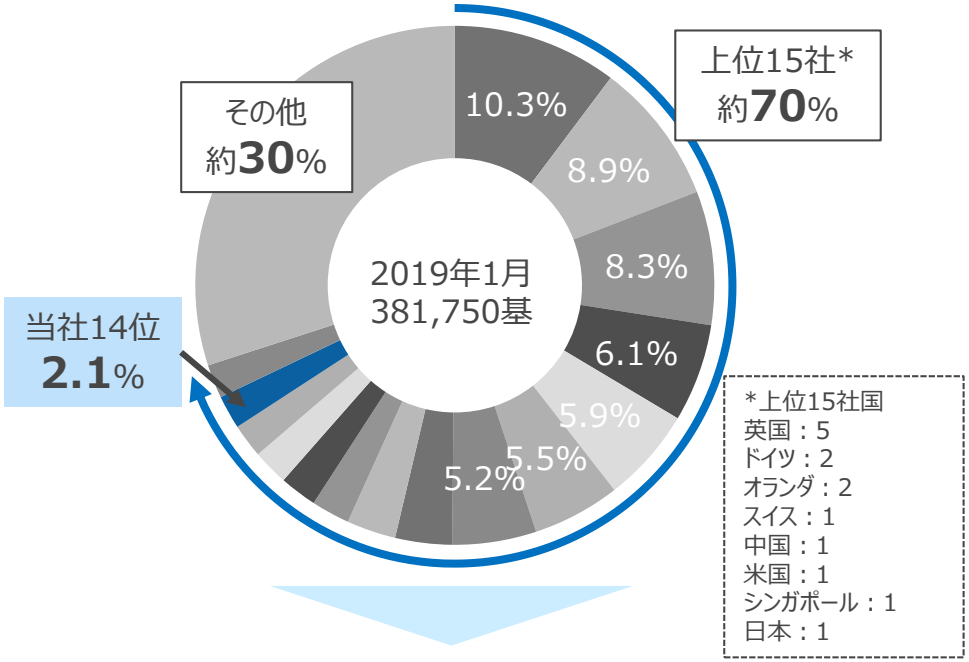
事業環境（2）　当社のポジション

■ 世界のタンクコンテナ保有基数は上位15社で約70%を占めるが、トップ企業のシェアは10.3%。
当社はシェア2.1%で世界第14位

当社タンクコンテナ保有基数とシェア推移



世界のタンクコンテナ保有シェア



上位15社で約70%を占める一方、圧倒的な高シェア企業はない

(出所)ITCO Global Tank Container Survey 2019

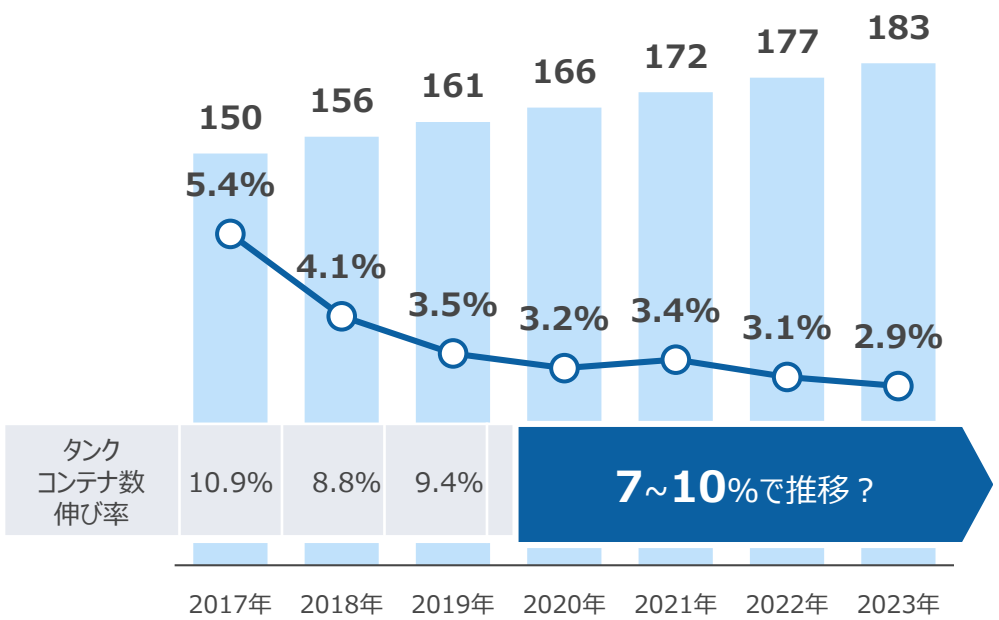
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

事業環境（3）　タンクコンテナ需給見通し

■ 世界のエチレン系誘導品の需要見通しは、2023年に向けて3%前後の安定的な伸びが見込まれており、これまでの世界のタンクコンテナ総数の伸びを踏まえると、タンクコンテナ需要は引き続き順調な伸びが期待される

*エチレン系誘導品
ナフサを分解して得られるエチレンから生成される各種化学材料。高い強度と耐久性を備えた容器で厳重に管理しながら世界中に運ぶ必要があり、海陸一貫輸送できるタンクコンテナの主要な輸送貨物となる。

世界のエチレン系誘導品の需要見通しとタンクコンテナ数伸び率



(百万トン)	2017年⇒2023年			伸び率
世界	149.7	182.5	32.8	3.4%
アジア	74.1	94.8	20.7	4.2%
欧州	21.9	23.6	1.7	1.3%
北中南米	35.3	40.0	4.7	2.1%
中東	9.6	12.4	2.8	4.4%

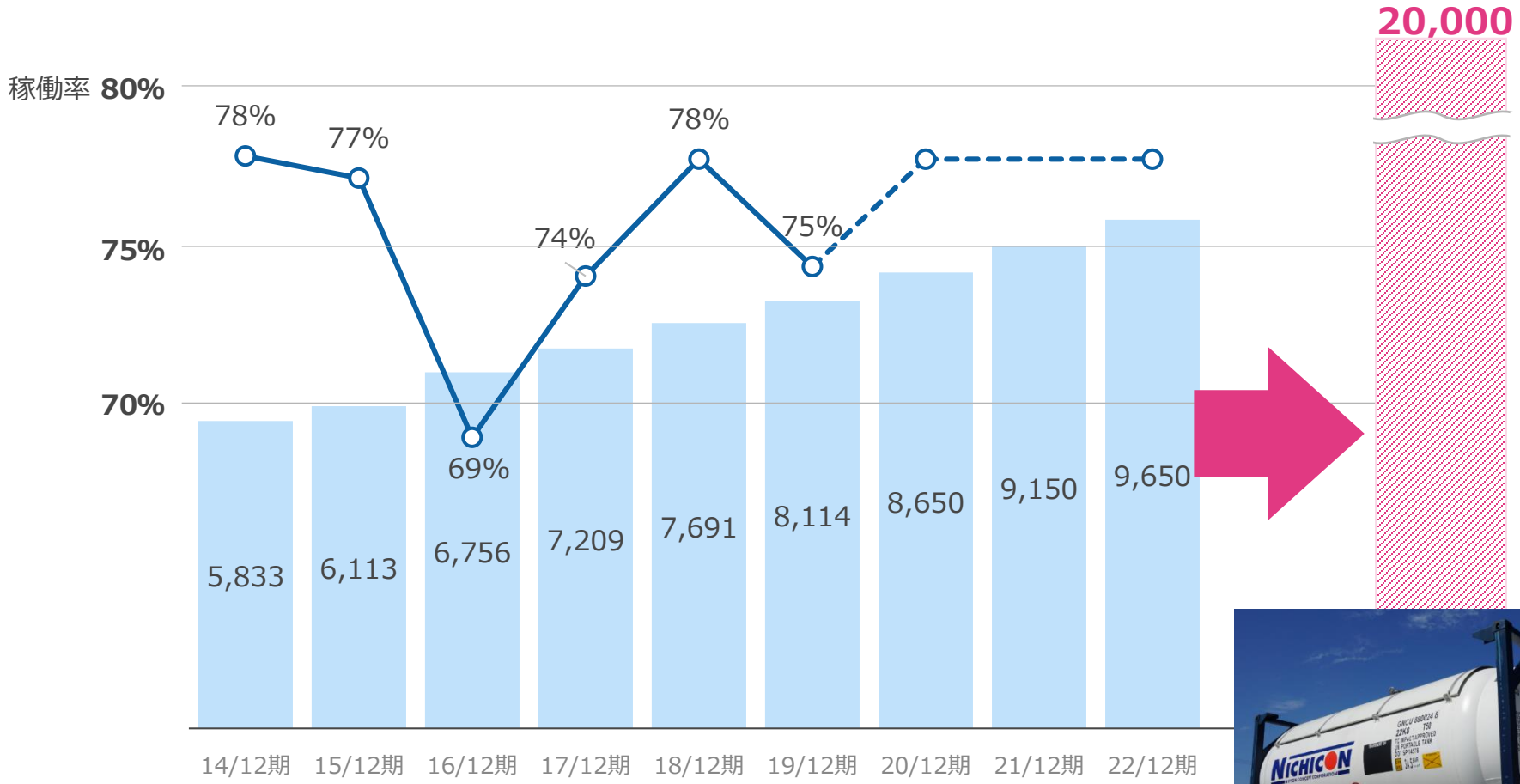
(出所)「世界の石油化学製品の今後の需給動向」(2018年10月経済産業省製造産業局素材産業課)

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（1）　ケミカル関連ビジネスの拡充

- 競争力強化に向けて保有基数の増大を図りつつ、稼働率も70%台半ばを維持
- 効率的な輸送を展開しつつ、輸送量の増加に見合った着実な増量を目指す



<新規調達計画>	2020/12期	2021/12期	2022/12期
調達基数(概算)	500	500	500



企業戦略（1）　国内ビジネスの拡大

- 新たに阪神支店のフロンガス無害化（分解）設備稼働（京葉臨海は2017年5月に稼働済）
- 京葉臨海支店高圧ガス事業所と阪神支店にフロンガス補充ボンベ保管用の倉庫設備を増強

洗浄拠点
ガス事業拠点
営業拠点

中部支店
中部営業所
（三重県四日市市）



新潟出張所
（新潟県新潟市）



京葉臨海支店高圧ガス事業所
（千葉県富津市）
2019年11月　倉庫設備増強



水島支店
水島営業所
（岡山県倉敷市）



京葉臨海支店
（千葉県富津市）



徳山支店
徳山営業所
（山口県下松市）



阪神支店　**2020年1月**
（兵庫県神戸市）　**無害化設備稼働**
倉庫設備増強





神戸支店
神戸営業所
（兵庫県神戸市）

京浜支店
（神奈川県川崎市）



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（2）　複合輸送の取り組み強化

■ コンテナ船で海外から搬送されてきたタンクコンテナを、内航船や鉄道、トラック輸送と組み合わせることにより、効率的な輸送を展開しつつ、CO_2削減への貢献やドライバー不足に対応する



トラック輸送



鉄道輸送



内航船輸送



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（2）　付帯サービスの強化

■ 国内支店の専用設備を利用し、ドラム缶やタンクローリなど他の輸送モードからタンクコンテナへの転換を促進、地球の環境保全に貢献

国内物流網における附帯サービス

保管



危険物の貯蔵所として認可を受けている当社の支店において、危険物を含め、貨物を積載したタンクコンテナを安全にそのまま保管・管理。

加温



機械の潤滑油やパーム油(椰子油)など、輸送途上で固まってしまう貨物を、当社の専用設備による温水や蒸気で温め、溶かしたうえで工場に納品。

移し替え



タンクコンテナのまま納入できないお客様に対しては危険物のプロとして、タンクローリーやドラム缶等に貨物を小分けして配送。

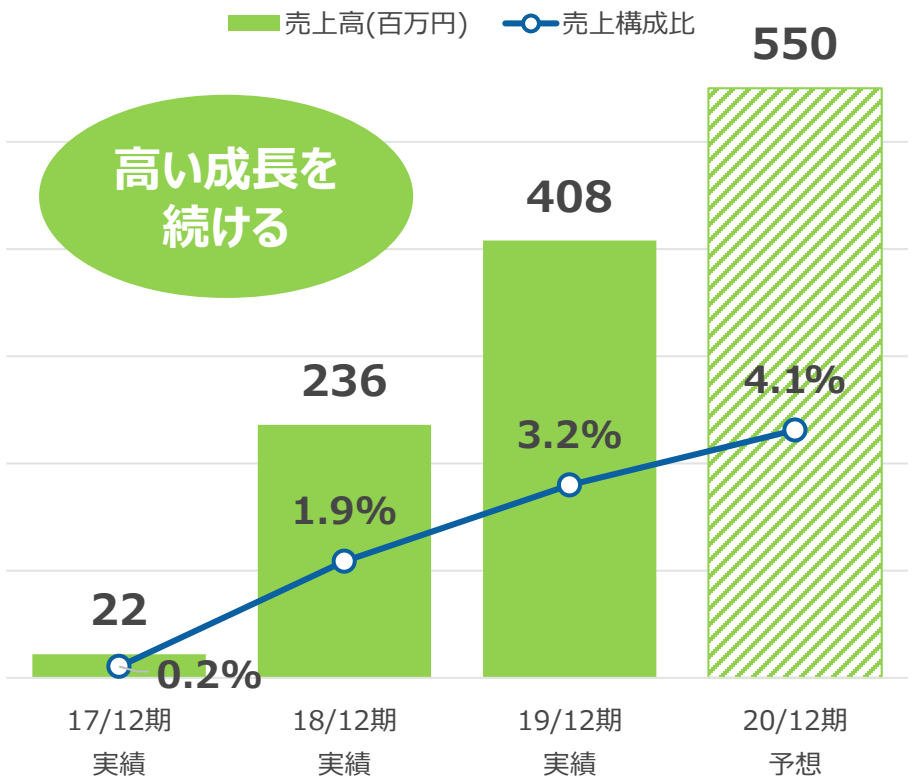
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（3）　フロンガス関連事業の拡大

- ガスタンクコンテナ等を利用したフロンガスの保管・回収・再生・無害化（分解）を一貫して提供
- 地球の環境保全に貢献するビジネスとして成長を図る、基幹産業としての位置づけ
- 2019/12期売上高は408百万円、2020/12期は前期比35%増の550百万円を見込む

ガスタンクコンテナ事業　売上実績



ガスタンクコンテナ事業

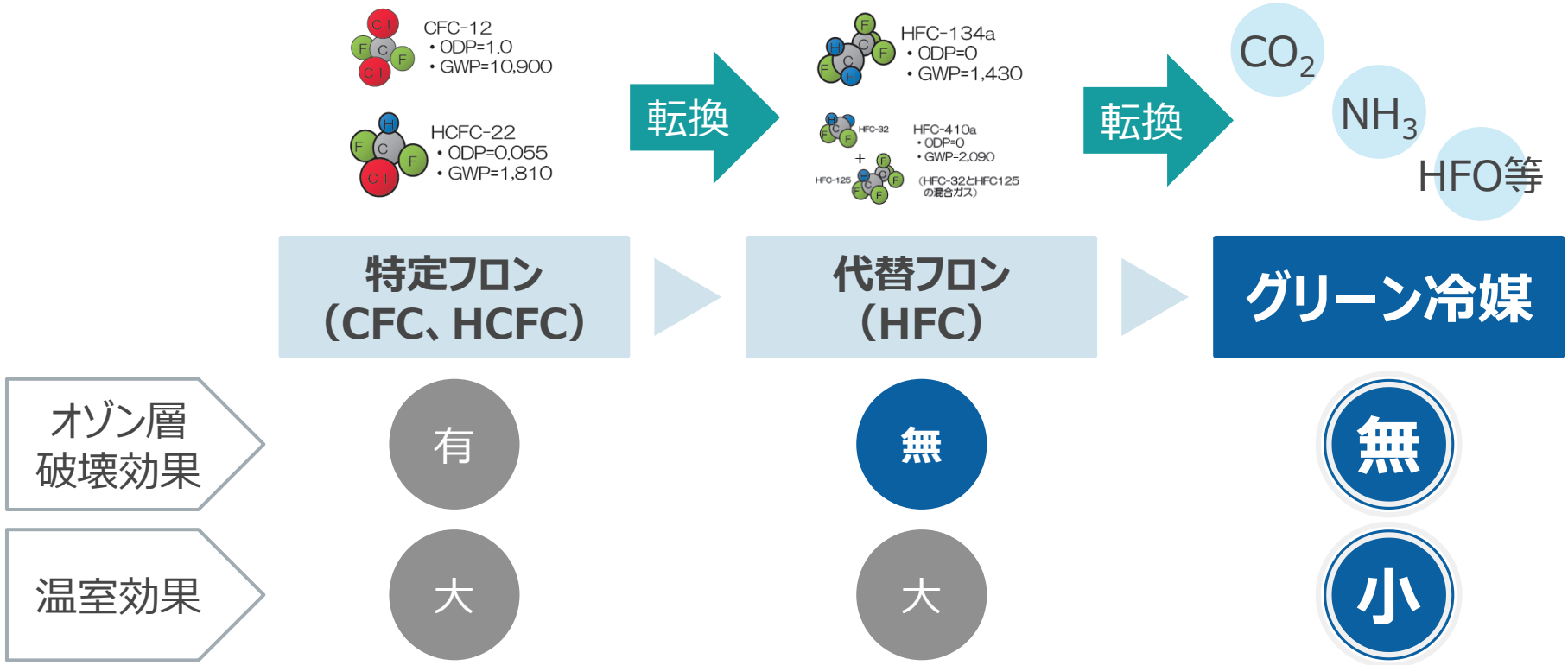


環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

（ご参考）ガスタンク事業を取り巻く外部環境（1）

- 1987年のモントリオール議定書で、特定フロンの抑制・代替フロンへの転換によりオゾン層を保護
- 代替フロンはオゾン層を破壊しないものの、温室効果はCO_2の数十倍～10万倍
- 2016年にモントリオール議定書改正。特定フロンに加え、代替フロンも排出量削減を義務付け



※ ODP ：オゾン層破壊係数（CFC-11を1とした場合のオゾン層に与える破壊効果の強さを表す値）
GWP ：地球温暖化係数（CO2を1とした場合の温暖化影響の強さを表す値）

(出所)「フロンを取り巻く動向と改正フロン排出抑制法の概要」(2019年11月　環境省・経済産業省)

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

（ご参考）ガスタンク事業を取り巻く外部環境（2）

- 2013年の「フロン排出抑制法」（フロン回収破壊法の改正）により、ライフサイクル全体を通じた排出抑制を目的とした制度に強化。ただし、フロン回収率は直近でも40%弱に止まっている
- 2019年に「フロン排出抑制法」を改正。機器廃棄時のフロン回収率向上のため、廃棄物・リサイクル業者等へのフロン回収済み証明の交付を義務付け、違反への直接罰を導入

オゾン層保護法

上流
（フロン類製造業者等の取組）

1988年制定
1988年施行
特定フロンの製造の許可制・輸入の承認制

1991年改正：対象物質の追加
1994年改正：対象物質の追加

2013年改正
2015年施行
製造業者判断基準（使用合理化計画、指定製品制度）
管理者判断基準、算定漏えい量報告公表制度等

2018年改正
2019年施行
対象物質に代替フロンを追加

フロン排出抑制法

中流
（管理者等の取組）

下流
（廃棄時の回収・破壊・再生の取組）

2001年制定
2002年施行
（引渡義務を規定）

2006年改正
2007年施行
（引渡義務違反への間接罰・工程管理制度等導入）

管理者を位置付けたことで
一定の回収率向上効果

2019年改正
2020年施行
（引渡義務違反の直罰化、廃棄機器の引取制限）

（参考）地球温暖化対策計画2016.5閣議決定

（出所）「フロンを取り巻く動向と改正フロン排出抑制法の概要」(2019年11月　環境省・経済産業省)

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（4）　海外展開　中東・アジア地域での営業推進

- 中東：2023年にかけて中東地域における化学品の供給能力が拡大、商船三井グループとの業務提携を通じて中東地域での営業力を強化
- アジア：中国の旺盛な輸入需要など、東アジア・東南アジア圏の活発な荷動きを取り込む

欧州

アジア

※ 中東では石油化学プラントの稼動が加速しており、エチレン生産能力の増加は1,528千トンに上るとみられる。この間、欧州での能力増強は計画されておらず、輸送需要の拡大を捉える好機（2018年から2023年にかけての増加量）

（出所）：経済産業省

世界の主要石油化学プラント（既存及び2023年までの新増設計画）



«2023年 エチレン系誘導品の需給バランス予測»（単位：百万トン）

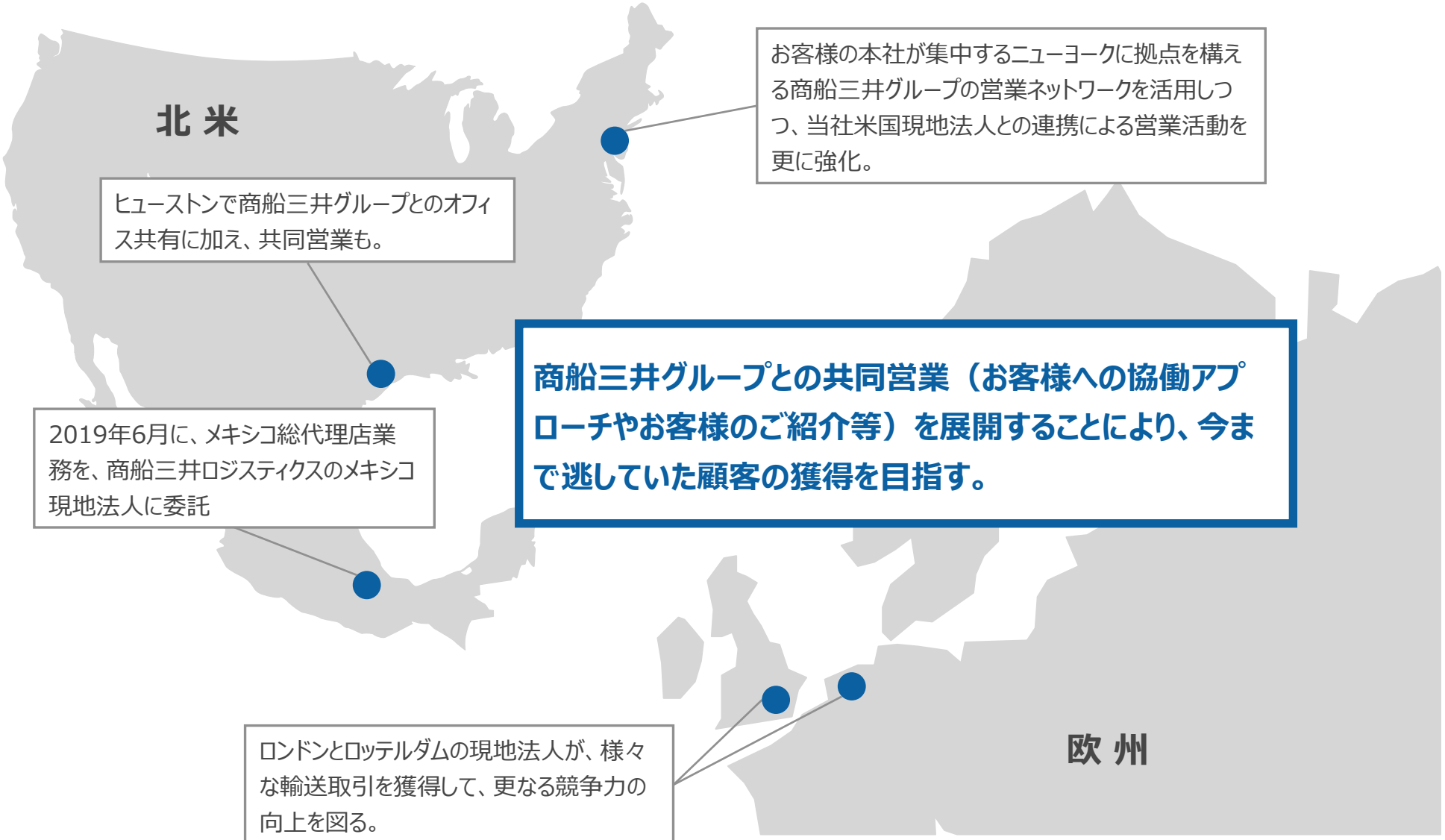
	欧州	北中南米	中東	アジア
生　産　量	21.2	49.6	32.3	81.3
消　費　量	23.6	40.0	12.4	94.8
需要バランス（2023年）	△2.4	+9.6	**+19.9**	△13.5
需要バランス（2017年）	△1.3	+5.7	+18.5	△15.1

（出所）　経済産業省「世界の石油化学製品の今後の需給動向」

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（4）　海外展開　欧米地域での営業推進



お客様の本社が集中するニューヨークに拠点を構える商船三井グループの営業ネットワークを活用しつつ、当社米国現地法人との連携による営業活動を更に強化。

ヒューストンで商船三井グループとのオフィス共有に加え、共同営業も。

2019年6月に、メキシコ総代理店業務を、商船三井ロジスティクスのメキシコ現地法人に委託

商船三井グループとの共同営業（お客様への協働アプローチやお客様のご紹介等）を展開することにより、今まで逃していた顧客の獲得を目指す。

ロンドンとロッテルダムの現地法人が、様々な輸送取引を獲得して、更なる競争力の向上を図る。

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅲ

中期経営計画　定量目標

環境、つなぐ未来。

NICHICON

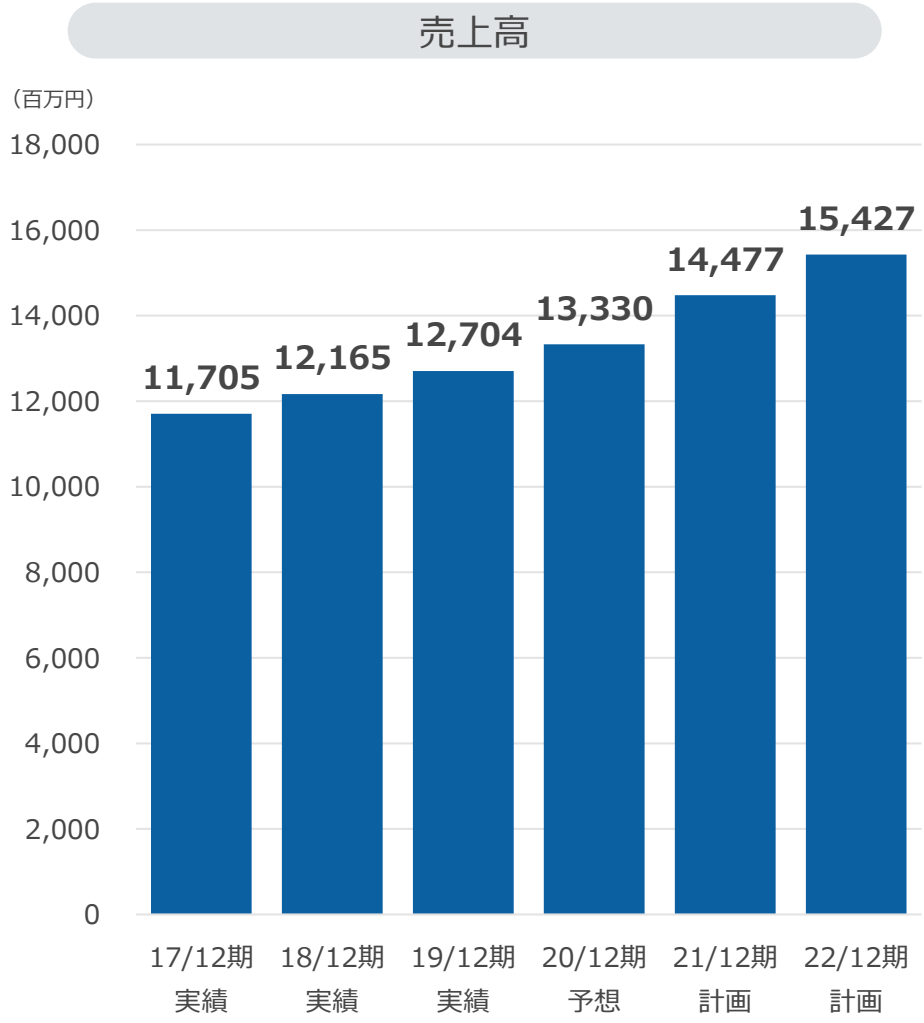
NIPPON CONCEPT CORPORATION

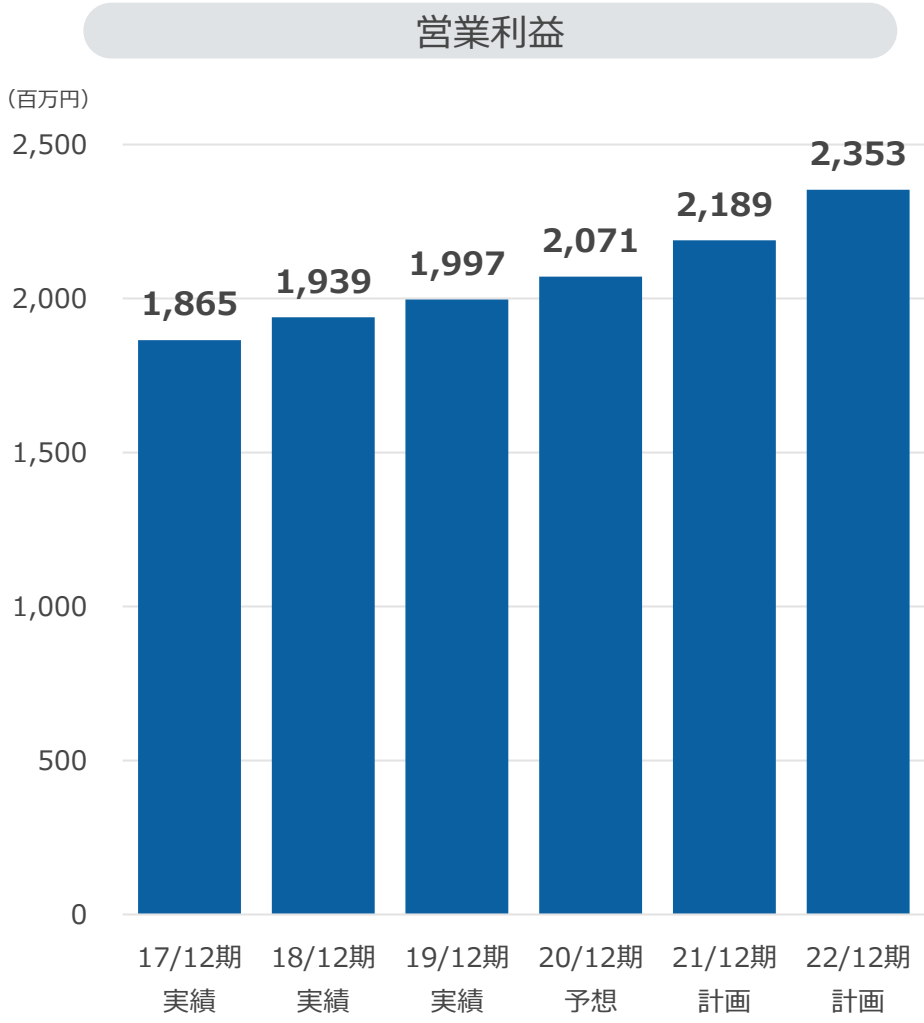
中期経営計画　定量目標

	2019/12期		計画最終年度 2022/12期
売上高	127.0億円	→	154.2億円
営業利益	19.9億円	→	23.5億円
経常利益	19.9億円	→	23.0億円
一株当たり当期純利益	101.3円	→	114.8円

連結業績（1）

■ 計画最終年度　売上高154億円、営業利益23.5億円の達成





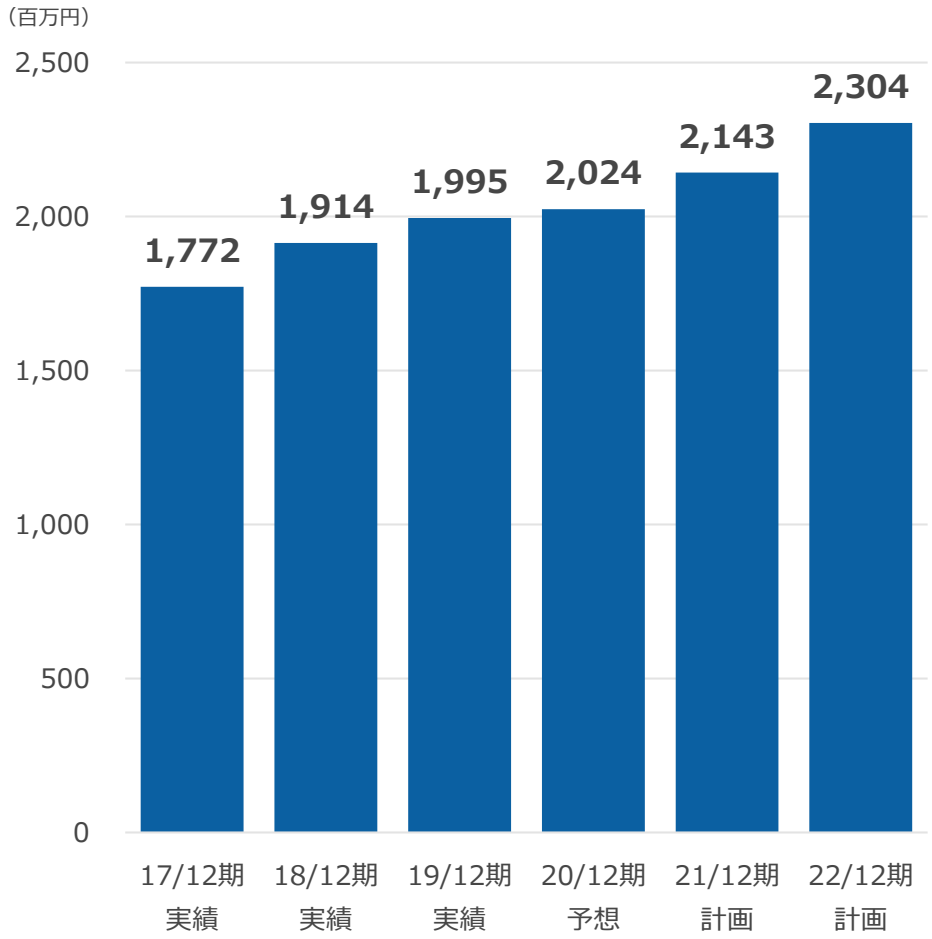
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

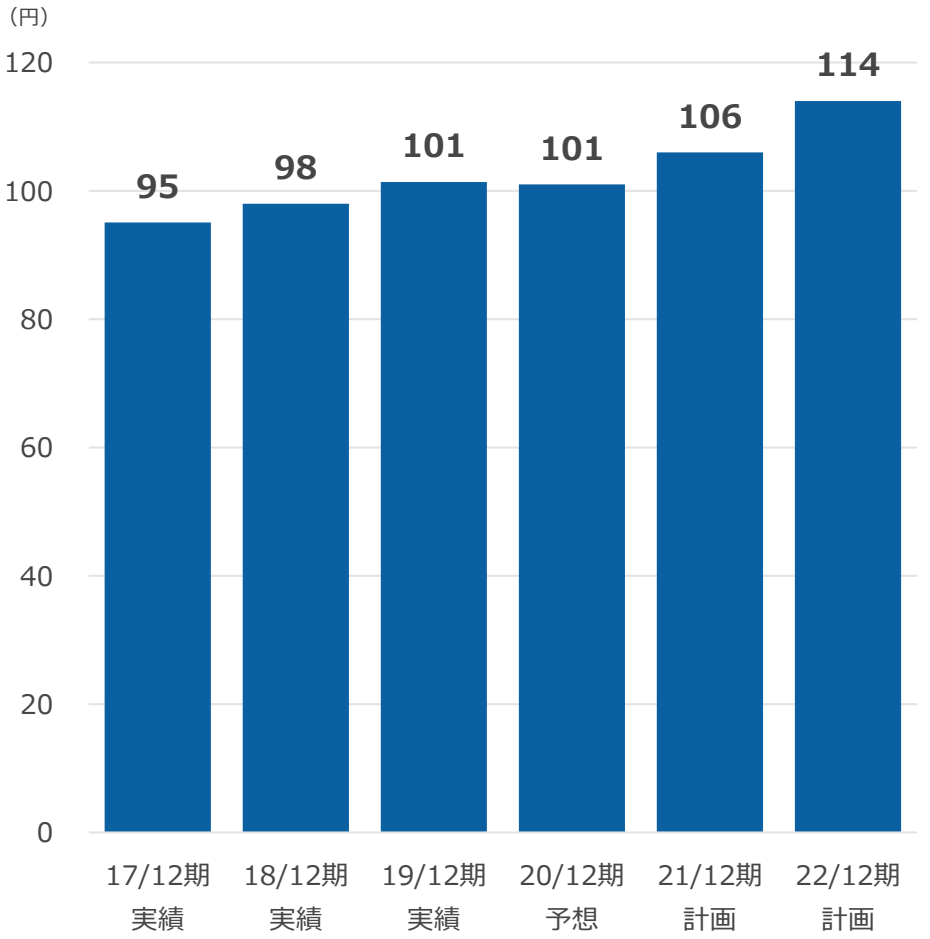
連結業績（2）

■ 計画最終年度　経常利益23.0億円、EPS114円の達成

経常利益



EPS(一株当たり当期純利益)



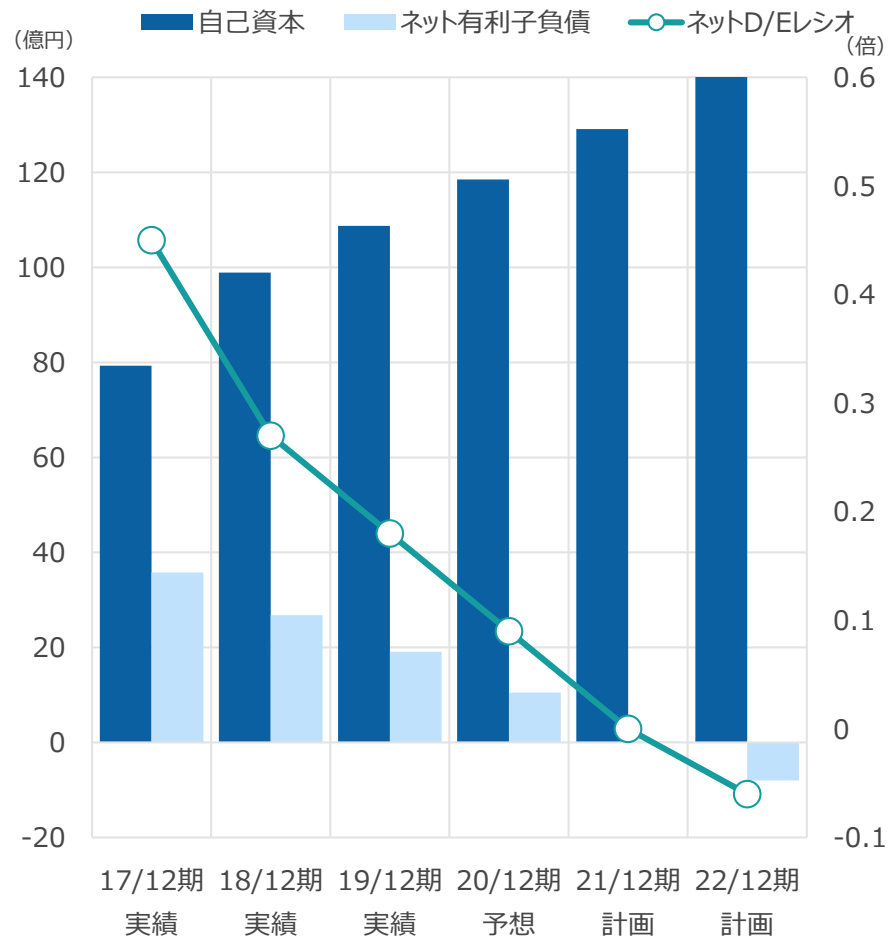
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

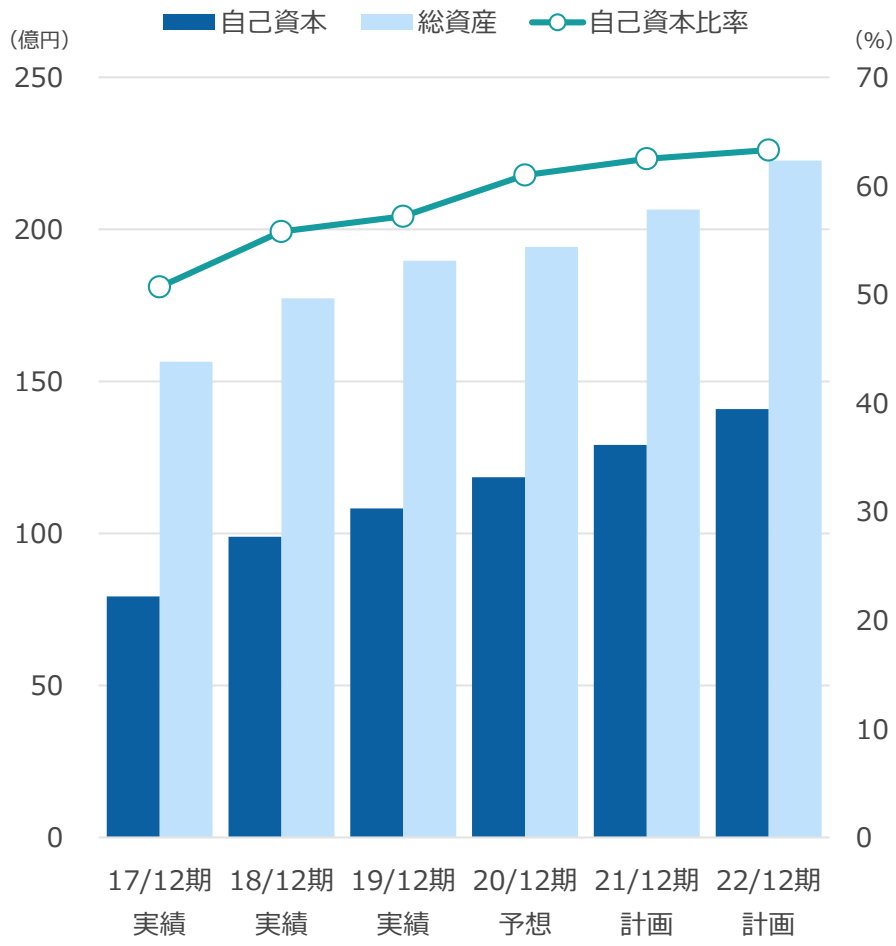
連結業績（3）

■ 計画最終年度　8億円のネット・キャッシュ

ネットD/Eレシオ



自己資本比率



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

財務指標

（単位 ： 億円）

連結	2016年	2017年	2018年	2019年（実績）	2020年（予算）	2021年（計画）	2022年（計画）
有利子負債	63.8	60.7	61.5	61.8	57.2	53.6	52.8
現預金	25.6	24.9	34.6	42.7	46.7	53.4	60.8
ネット有利子負債残高	38.1	35.8	26.8	19.1	10.5	0.2	-8.0
自己資本	70.4	79.3	98.9	108.5	118.5	129.1	140.9
総資産	148.1	156.5	177.3	189.7	194.2	206.5	222.6
自己資本比率(%)	47.5	50.7	55.8	57.2	61.0	62.5	63.3
ネットD/Eレシオ(倍)	0.54	0.45	0.27	0.18	0.09	0.00	-0.06

» タンク購入等により、毎年 １０ ～１５ 億円程度の設備投資を見込む

» 成長を堅持しつつ、自己資本比率 ６０ %以上、及びネットＤ／Ｅレシオ ０． １倍以下とすることを目標に、有利子負債の圧縮に努めてゆく方針

連結	2016年	2017年	2018年	2019年（実績）	2020年（予算）	2021年（計画）	2022年（計画）
税引前当期純利益	15.7	17.6	19.1	19.9	20.2	21.3	22.9
支払利息	1.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.6
減価償却費	8.6	9.0	10.0	11.4	11.6	12.6	13.3
ＥＢＩＴＤＡ※	25.5	27.3	29.8	32.0	32.4	34.6	36.9

※ 税引前・利払い前・減価償却前利益

比率は期末ベース

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

見通しに関する注意事項

**当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。**

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

<お問い合わせ先>
広報部　IR担当
03-3507-8812
inquiry@n-concept.co.jp

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.